

(別紙4(2))

## 目標達成計画

事業所名: 十字園グループホーム

作成日: 平成31年1月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けて具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	○重度化や終末期に向けた方針との協働 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく	本人と家族が安心できる終末を迎えられるように支援する。	終末期の対応について家族の意向を十分に聞き、施設でできる事を説明する。その上で医療的管理が必要になれば、医師と相談し今後の対応を考える。	12ヶ月
2	31	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援していく	利用者一人ひとりの日々の状態を、常に把握し適切な支援をする。	血圧・体温測定を毎日行い、一人ひとりの平常値を把握する。訪問時に体調の心配な人は早めに相談し医師に指示を仰ぐ。	12ヶ月
3	19	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	グループホーム内の行事に参加していただき、本人と一緒に過ごす機会と時間を共有する。	年間の行事計画を家族に送付し前もってお知らせする。また、一緒に参加できる催しは案内状を出して家族に来園していただく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。